

～明石市水道事業の経営状況とこれから～
市民説明会 第5回

[開催結果]

1. 開催概要

日時：2025年（令和7年）6月3日（火）午後7時00分～午後8時20分
場所：Z o o mオンライン

2. 参加者

5名（市民：4名、議員：1名） ※他事業体職員3名傍聴あり

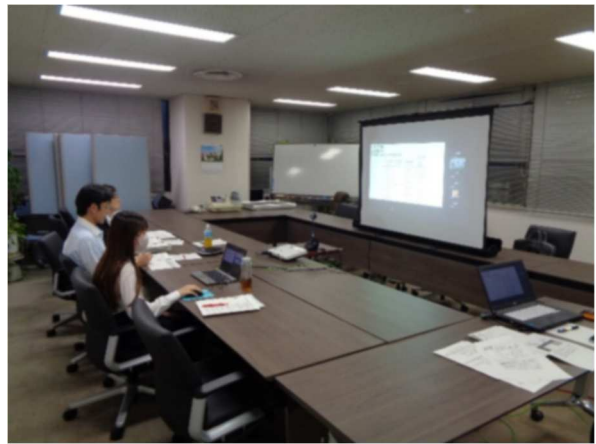
3. 主催出席者

5名

4. 説明内容

- （1）明石市水道事業の概要
- （2）現状と課題
- （3）課題に対する解決策
- （4）審議会で出た意見と今後のスケジュール

5. 開催状況



6. いただいた意見の要旨

【水源・水量】

- ・今後の水源としては、明石川河川水を廃止して、県水・阪神水道企業団からの受水を増やす計画なのか。
- ・近年、明石市は人口が増えているにもかかわらず、水道使用量が年々減少していることを初めて知った。
- ・洗濯機や食洗器など、家電製品の進化により、一般家庭での水道使用量が減少している。

【水質】

- ・明石川河川水のP F A S問題が気になる。西部配水場には、明石川河川水を浄水処理した水が入ってきていないことを確認できて、安心した。

【水道料金】

- ・平成17年以降、水道料金の値上げはしていないとのことであるが、個人的には上昇している印象はある。
- ・近年、水道料金を改定している自治体が増えているが、明石市を含めて、県内で比較的低料金の自治体でも料金改定が必要な状況なのか。
- ・結局のところ、将来的には水道料金の値上げは避けられないということか。
- ・令和8年3月に審議会から市に答申があった後に、具体的にいつ水道料金が変わるのか知りたい。
- ・東京都では、物価高騰対策として、水道料金の基本料金を数か月無料にする施策が打ち出されている。明石市でも採用してはどうか。

【施設の更新】

- ・埼玉県八潮市の下水道管に起因した道路陥没事故が、明石市でも発生しないか、施設の老朽化による安全性を心配する。
- ・水道管の老朽化度の検査について、最近A Iを使用した検査・評価方法が開発された。費用や時間の削減ができ、必要な個所を集中的に修繕・更新できるので、このような最新技術を活用してはどうか。

以上